

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理
(予算費目名) 廃棄物処理費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費	⑭海洋資源				
-------	--------	-----	--------	-------	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	7,174,028	7,859,652				
決算	10,643,690					
人件費(A)	246,000	245,200				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	10,889,690	8,104,852				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新清掃工場建設の進捗率	%	目標	14	24	30	41	100	100
		実績	14					
西部衛生工場の長寿命化工事の件数による進捗率	%	目標	70.6	82	91	94	100	100
		実績	67.6					
不法投棄、不当排出廃棄物のパトロールの実施率	%	目標	100					
		実績	100					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・浜松市の一般廃棄物を安全・安定的な処理を継続するため、新しいごみ処理施設を整備する。
・浜松市全域のごみを効率的に処理するために施設整備を図るとともに、下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理計画区域外において、適正な汚水処理を目指し、美しい環境の保全・再生につなげていく。
・一般廃棄物を適正に処理し、美しい環境の保全・再生につなげていく。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>・新清掃工場及び新破碎処理センターの整備を進めた。 ・西部衛生工場の長寿命化に係る整備事業を実施した。 ・ごみの持ち去り行為については、啓発活動やパトロール等によって件数は減少傾向にあるが、特定の行為者が繰り返している。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	収集業務管理事業					208,980	157,880	6.5			2.0
2	西部清掃工場運営事業	○	○			1,070,330	1,057,030	1.9			
3	衛生工場運営事業					807,852	780,352	2.9	0.6		1.8
4	ごみ計量システム維持管理事業					13,609	12,909	0.1			
5	新清掃工場整備事業	○	○			5,079,769	5,025,909	6.9	1.0		0.7
6	旧ごみ処理施設管理事業					31,030	15,590	1.8	0.4		0.5
7	北部収集窓口センター事業					849,922	800,222	7.1			
8	一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金					1,911	1,211	0.1			
9	廃棄物処理運営経費(一般諸経費のみ)					41,449	8,549	4.7			
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						8,104,852	7,859,652	32.0	2.0		5.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 収集業務管理事業

◇事業目的・事業対象

安全、衛生的な地域環境を維持していくために、環境美化活動を推進する。

◇事業の概要

■ごみ集積所適正管理支援事業
ごみ集積所への不当排出、ごみ・資源物の持ち去り行為等に対して、看板の設置やパトロールによる啓発活動を行う。また、不適正排出された一般廃棄物を適正に処理することにより快適な生活環境を保持する。

■路上死亡動物回収事業
住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの動物の死体を回収する。

■連絡ごみ収集事業
連絡ごみ受付センターの安定した運営並びに処理手数料の確実な徴収・収納を実施し、市民サービスの向上を図る。

■資源物処理事業
ペットボトルとプラスチック製容器包装や特定品目を中間処理して、再資源化を行う。

■ごみ収集運搬事業
家庭ごみ収集運搬業務委託(債務負担行為 平成28年度～平成32年度まで)の内容を検証・分析し、地域特性や処理施設の配置計画等を考慮した効率的な業務内容となるよう見直しを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	163,041	157,880				
	決算	146,594					
	国・県支出						
	市債						
	その他	65,195	62,948				
	一般財源	81,399	94,932				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		51,100	51,100				
人工	正規	6.5	6.5				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4,12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・大気、水、土壌へ配慮した、ごみ収集運搬を行う。
・分別された資源物の適正な中間処理により、循環型社会の構築を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
家庭ごみ収集運搬業務委託内容の見直し							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	継続運用	実施
実績値	継続運用	継続運用					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>■不法投棄対策・処理事業 不法投棄撲滅及び持ち去り行為排除に向けて、監視パトロールや防止看板の配布等を行う。</p> <p>■路上死亡動物回収事業 住環境を良好に保つため、路上等における犬、猫などの動物の死体を回収する。</p> <p>■連絡ごみ収集事業 連絡ごみ受付センターの安定した運営並びに処理手数料の確実な徴収・収納を実施し、市民サービスの向上を図る。</p> <p>■資源物処理事業 ペットボトルとプラスチック製容器包装や特定品目を中間処理して、適正に再資源化を行う。</p> <p>■ごみ収集運搬事業 家庭ごみ収集運搬業務委託(債務負担行為 平成28年度～平成32年度まで)の内容を検証・分析し、地域特性や処理施設の配置計画等を考慮した効率的な業務内容となるよう見直しを行うための諸準備を行う。</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>・持ち去り行為については、啓発活動やパトロール等によって件数は減少傾向にあるが、特定の行為者が繰り返し行っている。</p> <p>・平成29年度に家庭ごみ収集運搬業務委託及び資源物・特定品目の中間処理業務委託の契約更新がなされ、新たな契約内容により円滑な業務が実施された。</p>
--

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

令和2年度をもって契約満了となる家庭ごみ収集運搬業務委託の更新に向けて、直近の稼働状況データを基に所要台数などの見直しを図り、債務負担行為の設定を行った。(債務負担行為 令和2年度～令和5年度まで)

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和3年4月からの家庭ごみ収集運搬業務実施に向けて、令和2年度に入札及び契約締結を行う。
・令和6年4月からの新清掃工場稼働に向けて、今後、新清掃工場と西部清掃工場の収集エリア分けなど、最適な収集運搬計画を検討していく。

事業シート (事業名) 西部清掃工場運営事業

◇事業目的・事業対象

西部清掃工場の適正な運営・維持管理を行う。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.133】

対象施設: 西部清掃工場

- ・平成21年2月に稼動し、PFI手法(DBO方式)により、運転管理を民間委託している。
- ・処理対象物は可燃ごみ、他工場焼却灰、下水汚泥等である。
- ・処理対象物をスラグ、精製塩やミックスメタルに再資源化し、最終処分場の延命化に貢献させる。
- ・古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO)へ蒸気とごみ発電による電気を供給する。
- ・広域処理として、湖西市の可燃ごみを処理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	R5	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,047,326	1,057,030				
	決算	992,954					
	国・県支出						
	市債						
	その他	855,589	830,240				
	一般財源	137,365	226,790				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		20,300	13,300				
人工	正規	2.9	1.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4,12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2,6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー	○ 7.a	⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全、公衆衛生の向上及び資源が循環して利用される社会形成を図る。
- ・廃棄物処理施設の設置者として、法令等を遵守し、安全かつ適正な施設の運転管理を行う。
- ・ごみ焼却時に発生する熱を再生エネルギーとして有効活用する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
可燃ごみの適正処理量の累計値(t)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	484,000	605000	726000	847000	968000	1089000	-
実績値	463258	577145					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
ごみ発電出力の累計値(MWh)							-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	144	180	216	252	288	324	-
実績値	191	238					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
西部清掃工場の更新事業計画策定の進捗率(%)							133
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		5	20	55	100	100	-
実績値		5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.133】

・西部清掃工場の適正な運営・維持管理を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業モニタリングにおいて運営・維持管理を確認した。

・焼却により発生した余熱を利用し、発電や総合水泳場へ電気、蒸気を供給を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業モニタリングにより適正な運営・維持管理を確認した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設の適正な維持管理を実現するため、修繕更新モニタリングを強化する。

補助シート (事業名) 西部清掃工場運営事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
133	スケジュール精査 視察	交付金地域計画修正 視察	更新方針の検討 基本計画の策定① 地質調査 ごみ組成分析 生活環境影響調査① 視察	アドバイザー契約 基本計画策定② PFI導入可能性調査 PFI専門委員会 生活環境影響調査② 視察
〇〇				

令和2年度

(管理番号)
04 01 04 01 001510000 03

(担当課)
廃棄物処理課

(責任者)
苗村 英哉

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 衛生工場運営事業

◇事業目的・事業対象

・施設の統廃合が完了し、し尿処理体制の効率化が図られ、東部衛生工場の予防保全による施設整備と西部衛生工場の長寿命化工事を行い、強靱なし尿処理体制を維持管理していく。

◇事業の概要

■衛生工場維持管理運営事業

- ・東部、西部衛生工場を適正に維持管理する。
- ・旧し尿処理施設(浜北クリーンセンター、天竜衛生センター、細江し尿処理センター)を適正に維持管理する。
- ・北遠貯留槽について佐久間貯留槽を改築し、水窪貯留槽改築のための設計をする。

■衛生工場整備事業

- ・西部衛生工場の長寿命化工事を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S56	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	804,160	780,352				
	決算	760,930					
	国・県支出						
	市債						
	その他	58,411					
	一般財源	702,519	780,352				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		26,660	27,500				
人工	正規	2.9	2.9				
	再任用(h31)	0.6	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	1.8				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4,12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.1
⑥ 水・衛生	○ 6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・し尿処理施設の適正な維持管理により、地元協定を遵守する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
西部衛生工場の長寿命化工事の件数による進捗率 (%)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	58.8	70.6	82.4	91.2	94.1	100	100
実績値	61.8	67.6					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 衛生工場維持管理事業
 - ・東部、西部衛生工場を適正に維持管理する。
 - ・旧し尿処理施設 (浜北クリーンセンター、天竜衛生センター、細江し尿処理センター) を適正に維持管理した。
- 衛生工場長寿命化事業
 - ・西部衛生工場の長寿命化工事を行った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- 衛生工場維持管理事業
 - ・東部、西部衛生工場を適正に維持管理した。
 - ・旧し尿処理施設 (浜北クリーンセンター、天竜衛生センター、細江し尿処理センター) を適正に維持管理した。
- 衛生工場長寿命化事業
 - ・西部衛生工場の長寿命化工事を進めた。要求通りの予算がつかないため、3%の事業の遅れが生じている。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・西部衛生工場の長寿命化に係る事業を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・老朽化した北遠地区のし尿貯留槽を計画的に整備する。令和元年度に改築工事をする予定だった佐久間貯留槽は入札不調により、令和3年度に工事予定。また、令和3年度の水窪貯留槽改築工事に向け設計を行う。
・旧衛生工場(細江し尿処理センター)の有効利用に向けた準備を進める。

事業シート (事業名) ごみ計量システム維持管理事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料として利用するための計量システムについて、適正な管理・運用を行う。

◇事業の概要

■ごみ計量システム維持管理事業

ごみ計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量器で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理する。
- ・計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用する。
- ・現ごみ計量システムは再賃貸借契約での運用とする。

ごみ計量システムの構築

- ・旧システムの機器類の老朽化に伴う新ごみ計量システムを平成31年4月1日より稼働した。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	17,179	12,909				
	決算	12,750					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	12,750	12,909				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		640	700				
人工	正規		0.1				
	再任用(h31)	0.1					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.6
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ・計量システムの適正な管理、運用により、統計データを活用する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
新計量システム構築の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	—					—
実績値	100	—					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

ごみ計量システムの運営

- ・市内の廃棄物処理施設の計量器で得られるデータをネットワークで結び、計量データを管理した。
- ・ごみ計量データは、一般廃棄物処理手数料及び統計の基礎資料などで利用した。
- ・現行ごみ計量システムは再賃貸借契約での運用とした。

ごみ計量システムの再構築

- ・旧システムの機器類の老朽化に伴う新ごみ計量システムを平成31年4月1日より稼働した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・現行システムの適切な運用を図り、安定的なごみ処理に貢献した。
- ・旧システムの機器類の老朽化に伴う新ごみ計量システムを平成31年4月1日より稼働した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

システム更新の再検証の結果、新たなシステム開発はせず現行システムを再構築することとし、コスト縮減及び開発期間の短縮化を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

システムの更新完了に伴い、令和元年度以降は維持管理のみの運用を行う。

事業シート (事業名) 新清掃工場整備事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の一般廃棄物を安全・安定的に処理するため、新しいごみ処理施設を整備する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No132】

新清掃工場及び新破碎処理センターの整備

- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備に係る造成工事、アプローチ道路工事、プラント・建築設計を行う。
- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備のモニタリングを実施する。(PFI事業モニタリング)
- ・環境影響評価条例に基づく工事期間中の事後調査を実施する。
- ・周辺道路の道路改良工事を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	R5	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,325,671	5,025,909				
	決算	4,318,853					
	国・県支出	705,990	704,937				
	市債	2,723,200	3,111,700				
	その他	20,000	25,000				
	一般財源 一般会計繰入金	889,663	1,184,272				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		48,500	53,860				
人工	正規	5.9	6.9				
	再任用(h31)	2.0	1.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.7				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4,12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー	○ 7.1	⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・安全・安定的な新しいごみ処理施設により、循環型社会の構築を図る。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
新清掃工場建設の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5	14	24	30	41	100	100
実績値	5	14					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
PFI事業(設計・建設)の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2	11	20	24	35	100	100
実績値	2	11					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
施設整備に係る環境影響評価事後調査の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	21	26	40	52	75	100	100
実績値	9	26					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
施設整備に係るモニタリング業務の進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	15	30	46	64	79	100	100
実績値	15	30					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No132】

新清掃工場及び新破碎処理センターの整備

- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備に係る造成工事を行う。
- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備のモニタリングを実施する。(PFI事業モニタリング)
- ・環境影響評価条例に基づく工事期間中の事後調査を実施する。
- ・周辺道路の側溝改良工事、道路改良工事を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

新清掃工場及び新破碎処理センターの整備

- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備に係る造成工事として造成工、管理用道路工、調整池堰堤工などを実施した。
- ・新清掃工場及び新破碎処理センター施設整備運営事業において、定例会議、業務関連書の確認、現場確認等を実施し、要求水準を満たしているか監視するためモニタリングした。(PFI事業モニタリング)
- ・環境影響評価条例に基づく工事期間中の事後調査として、水質、動植物、生態系、保全対象種の調査及び保全措置を実施した。
- ・熊小松天竜川停車場線の道路改良及び天竜紙板南線の側溝改良工事を実施し、周辺道路の整備を進めた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・本事業は、事業契約の段階で、PFI方式を導入し、財政支出の削減や民間ノウハウの活用を実現している。本年度は、工事工程表に従い、計画通り事業を進めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・本事業は、事業契約の段階で、PFI方式を導入し、財政支出の削減や民間ノウハウの活用を実現している。引き続き、計画通りに事業を進める。

令和2年度

(管理番号)

04 01 04 01 001510000 05

(担当課)

廃棄物処理課

(責任者)

石原 敦資

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 新清掃工場整備事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
132	環境影響評価事後評価 PFI事業モニタリング業 務 周辺道路工事 PFI事業 (造成工事、アプローチ 道路工事)	環境影響評価事後評価 PFI事業モニタリング業 務 周辺道路工事 PFI事業 (造成工事、アプローチ 道路工事、建築・プラン ト設計)	環境影響評価事後評価 PFI事業モニタリング業 務 周辺道路工事 PFI事業 (造成工事、アプローチ 道路工事、建築・プラン ト設計、建築工事)	環境影響評価事後評価 PFI事業モニタリング業 務 周辺道路工事 PFI事業 (建築工事、プラント工 事)

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

処理が終了したごみ処理施設、埋立地(旧ごみ処理施設)及びその跡地を適正に管理する。

◇事業の概要

旧最終処分場の維持管理

- ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転管理を行う。廃止に向け、準備を進める。
- ・静ヶ谷最終処分場の安定化モニタリングを行う。

旧ごみ処理施設跡地の管理

- ・不法投棄や放火などを未然に防ぐための適正管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(法令事務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,996	15,590				
	決算	10,979					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	10,979	15,590				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		16,200	15,440				
人工	正規	2.0	1.8				
	再任用(h31)	0.3	0.4				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.1,14.2
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

処理が終了したごみ処理施設、埋立地(旧ごみ処理施設)及びその跡地を適正に管理することで、河川放流基準を遵守する。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

旧最終処分場の管理

- ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転・維持管理、機器類等の更新、廃止に向けての準備
- ・静ヶ谷最終処分場の安定化調査の実施

旧ごみ処理施設跡地の管理

- ・定期パトロールの実施
- ・樹木等の管理(草刈り、樹木剪定等)

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・静ヶ谷最終処分場排水処理施設の運転管理及び清掃を適正に行った。
- ・旧施設跡地等を定期的にパトロールを実施するなど、適正な管理を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・旧ごみ処理施設等跡地の活用又は移管に向けた検討を進める。

事業シート (事業名) 北部収集窓口センター事業

◇事業目的・事業対象

家庭から排出されるごみを、適正に収集運搬することにより、安全で清潔な生活環境の保全を図る。

◇事業の概要

- ごみ収集事業
 - ・家庭系一般廃棄物収集運搬業務委託の管理を行う。(中区、東区)
 - ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び収集運搬を行う。
- 北部収集窓口センター管理運営事業
 - ・北部収集窓口センターの管理運営を行う。
 - ・北部収集窓口センターの予算、庶務等に関する一般事務を行う。
 - ・事業所内の清掃、設備点検等による安全な職場環境の形成を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	794,305	800,222				
	決算	792,739					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	792,739	800,222				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		49,700	49,700				
人工	正規	7.1	7.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4,12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・大気、水、土壌へ配慮した、ごみ収集運搬を行う。

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
委託事業所への訪問及び確認(ごみ収集事業) (回以上)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	4	4	4	4	4
実績値	1	1					
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>■ごみ収集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)の管理を行う。 ・ごみ収集運搬業者への適切な指導を行う。 ・不法投棄、不当排出廃棄物のパトロール及び処理を行う。 ・地域の環境美化活動による廃棄物の収集運搬を行う。 ・ごみ集積所に関する相談、手続きを行う。 ・ごみの出し方、分別等の相談受付を行う。 ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業を行う。 ・各種啓発活動(出前講座ほか)を行う。 <p>■北部収集窓口センター管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部収集窓口センターの管理運営を行う。 ・北部収集窓口センターの予算、庶務等に関する一般事務を行う。 <p>事業所中の清掃、設備点検等による安全な職場環境の形成を進める</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ・資源物の収集運搬業務委託(中区、東区)の管理においては、委託業者に対し指導・監督・調整を行い、大きなトラブルもなく適正な運営がなされた。また、委託業務中に人身事故および物損事故が数件あったため、研修の開催および安全運転の励行を周知した。 ・集積所内のコンテナ数を減らすため、ペットボトルおよびカン回収用のネット利用を促進した。 ・古着、古紙類ほかの資源物回収事業において当センター開設3年目の対比で見ると、回収量は施設周辺に民間回収拠点が増加したため減少している。 ・その他の事業では、ほぼ前年並みの実績が得られた。
--

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的なパトロールを実施し、不法投棄・不当排出廃棄物の排出量を抑制した。
- ・生活環境の保全上支障が生じないように収集運搬の実施を行った。
- ・事業系廃棄物の不当排出を指導した。
- ・排出違反者への指導を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・当事業所建物内での古紙古着などの資源物回収については、民間回収拠点の増加により減少しているが、市民の利便性を考慮し利用促進を進める。
- ・北部収集窓口センターは、中区・東区全体をカバーする拠点として順調に業務を遂行している。今後も、よりいっそうの市民の利便を進める。

令和2年度

(管理番号)

04 01 04 01 001510000 08

(担当課)

廃棄物処理課

(責任者)

苗村 英哉

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 一般廃棄物処理施設整備事業基金積立金

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理施設の建設等に係る資金の一部積立

◇事業の概要

基金積立の事務を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務(その他)	—	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	857	1,211				
	決算	3,600,314					
	国・県支出						
	市債						
	その他	314	1,211				
	一般財源	3,600,000					
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

基金積立の事務を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

基金の積立を継続する。

令和2年度

(管理番号)

04 01 04 01 001510000 09

(担当課)

廃棄物処理課

(責任者)

苗村 英哉

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 廃棄物処理運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

廃棄物処理課の運営経費

◇事業の概要

廃棄物処理運営事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	8,493	8,549				
	決算	7,577					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	7,577	8,549				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		32,200	32,900				
人工	正規	4.6	4.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

・適正な廃棄物処理課の運営により、持続可能な開発を行う。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

廃棄物処理運営事業を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

廃棄物処理課の運営に係る、必要な予算を執行した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

廃棄物処理課の運営を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

廃棄物処理課の運営を引き続き行っていく。

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 南清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費						
-------	--------	-----	--------	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	694,743	761,948				
決算	678,256					
人件費(A)	313,500	312,700				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	991,756	1,074,648				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
焼却場の安定稼働焼却量(118,000t)に対する安全率	%	目標	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	—
		実績	1.02					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

南部清掃工場の適正な運営維持管理をすることにより、市民の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・南部清掃工場の適正な運営維持管理を行い、焼却場の安定稼働焼却量通り稼働することができるとともに、焼却場の運転も電気設備点検時の2日間と焼却設備点検整備時の3日間を除き安定稼働することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	ごみ焼却施設運営事業					1,014,191	746,291	34.1	5.0		4.0	
2	南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)					60,457	15,657	6.0			1.0	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,074,648	761,948	40.1	5.0		5.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
04 01 04 02 001541000 01

(担当課)
南清掃事業所

(責任者)
鈴木 章良

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) ごみ焼却施設運営事業

◇事業目的・事業対象

南部清掃工場の安全・安心なごみ焼却及び適正な運営維持管理を行う。

◇事業の概要

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し、再生可能エネルギーの地産地消にも寄与する。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	R2	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	679,365	746,291				
	決算	664,721					
	国・県支出						
	市債						
	その他	515,250	536,284				
	一般財源	149,471	210,007				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		268,700	267,900				
人工	正規	34.1	34.1				
	再任用(h31)	6.0	5.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.0	4.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー	○ 7.1	⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

ごみ焼却業務における汚染減少、有害な化学物質や物質の放出の最小化を行う。環境上の悪影響を軽減させる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
焼却場の安定稼働焼却量(118,000t)に対する安全率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	±5.00	-
実績値	5.25	1.02					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・南部清掃工場に搬入される可燃ごみを適正かつ効率的に処理するため、最新の公害防止・自動化・省エネシステムを導入し24時間運転する。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分を電力会社へ売却し有効活用を図る。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行う。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・南部清掃工場に搬入された可燃ごみ120,928トンを焼却した。
- ・燃烧ガスの熱エネルギーを利用し、蒸気タービン発電機で発電を行い、電力は場内で利用し、余剰分11,114,620kWhを電力会社へ売却し有効活用を図った。
- ・南部清掃工場の適正な運営管理と各設備の定期点検整備を行った。
- ・施設の運営、整備を行うため、職員への知識と技術の習得、継承に留意した研修を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・南部清掃工場の安定稼働が維持できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・当工場は令和5年度まで稼働する計画であるため、休止までの退職に伴う人員減による班員体制について引き続き検討していく。

事業シート (事業名) 南清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	15,378	15,657				
	決算	13,535					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	13,535	15,657				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		44,800	44,800				
人工	正規	6.0	6.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 平和清掃事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
- 埋立処分地の延命化を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑫生産・消費								
--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	848,431	820,045				
決算	848,431					
人件費(A)	80,800	78,000				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	929,231	898,045				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
粗大・不燃ごみ等破碎処理における破碎処理センター稼働率	%	目標	—	84以上	85以上	86以上	87以上	—
		実績	—					
平和最終処分場第二期埋立進捗率	%	目標	49.0	50.3	53.0	55.7	58.5	61.2
		実績	46.9					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- 安全かつ効率的なごみ処理体制を確立するとともに、最終処分場施設の適正な維持管理を行う。
- 埋立処分地の延命化を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 令和元年度に、平和最終処分場第1期埋立処分場の廃止手続きを完了した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	不燃物等処理施設運営事業					484,258	467,758	1.5	0.5		1.5	
2	埋立処分場運営事業					361,568	337,868	1.5	2.5		1.5	
3	平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)					52,219	14,419	5.0			1.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						898,045	820,045	8.0	3.0		4.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 不燃物等処理施設運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物破碎処理施設を適正に運営維持管理することにより、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

◇事業の概要

- ごみ減容化のため不燃・連絡ごみを破碎し、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化する。
・対象施設: 平和破碎処理センター
- 施設の運転管理及び設備保守点検等を実施する。
- 可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため改修工事等の施設整備を行う。
- 公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とする。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	408,696	467,758				
	決算	408,696					
	国・県支出						
	市債						
	その他	145,220	12,787				
人件費(報酬等) (千円)	一般財源	263,476	454,971				
	一般会計繰入金						
人件費 (千円)		16,500	16,500				
人工	正規	1.5	1.5				
	再任用(h31)	0.5	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.5	1.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

○廃棄物の中から可能な限り金属類を回収し、天然資源の再資源化率を向上させる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
粗大・不燃ごみ等破碎処理における破碎処理センター稼働率(%以上)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	—	84%	85%	86%	87%	—
実績値	—	—					—
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ごみ減容化のため不燃・連絡ごみを破碎し、排出される鉄・アルミ等の資源物を適正に再資源化した。
対象施設:平和破碎処理センター
- 施設の運転管理及び設備保守点検等を実施した。
- 可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持するため、改修工事等の施設整備を行った。
- 公害関係法令を遵守し、臭気、騒音、振動、排水等の公害対策を講じて基準値以下とした。

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

○旧指標において不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率は、磁性鉄17.4%、アルミ1.6%、計19.0%と、目標値15%以上を達成することができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○ 破碎処理センターの破碎・選別機能を維持するための整備工事や適正な保守点検等の実施により、可燃物と不燃物の選別機能や資源物選別回収の適正効率を維持することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○ 破碎処理センター業務の効率化を図り、稼働率を上げる。

○ 施設機能を維持するための整備工事や修繕等の投資と廃止を見据えた必要最小限の施設維持管理の両立が必要である。

○ 臭気軽減に向けた一層の臭気対策が求められている。

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を維持管理することにより、適正な生活環境の保全を図る。

◇事業の概要

○埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行う。
 対象施設:
 ・平和最終処分場及び浸出水処理施設
 ・引佐最終処分場及び浸出水処理施設
 ・舞阪吹上第2廃棄物最終処分場
 ○廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	424,850	337,868				
	決算	424,850					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	424,850	337,868				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		26,500	23,700				
人工	正規	1.5	1.5				
	再任用(h31)	2.5	2.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	1.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

○廃棄物の発生防止、削減及び再生利用等の推進により、埋立処分廃棄物量の削減に繋げる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
平和最終処分場第2期埋立進捗率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	46.0	49.0	50.3	53	55.7	58.5	61.2
実績値	45.0	46.9					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行った..

対象施設:

- ・平和最終処分場及び浸出水処理施設
- ・引佐最終処分場及び浸出水処理施設
- ・舞阪吹上第2廃棄物最終処分場

○平和最終処分場第一期埋立処分場の廃止を行った。

○廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

○平和最終処分場第二期埋立容量567,700m³に対し、令和元年度末埋立地残余容量301,261m³となり、埋立進捗率49.0%の目標値以下をクリアすることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○第一期埋立処分地の廃止により、水処理施設を第二期埋立処分地の処理水として活用できた。
○ごみ減量、資源化への推進活動に加え、平和破碎処理センターの不燃ごみ等破碎処理後における再資源化率が目標値を上回り、その結果、最終埋立処分量が抑制され、平和最終処分場第二期埋立進捗率49%の目標値を上回ることなく計画通り実施することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○第二期埋立処分場の埋立てが上流部から下流部へ移行し、第一期の浸出水処理施設を第二期でも活用し、より適正な埋立ての進捗及び浸出水の処理を行う。

令和2年度

(管理番号) 04 01 04 03 001545000 03

(担当課) 平和清掃事業所

(責任者) 田中 伸道

(基準日) 令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 平和清掃事業所運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	14,885	14,419				
	決算	14,885					
	国・県支出						
	市債						
	その他	123	141				
一般財源	一般財源	14,762	14,278				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		37,800	37,800				
人工	正規	5.0	5.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

○最終処分場や破碎処理センターの活動内容等を広く市民に理解してもらうため、施設見学や出前講座を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

○事業の縮小や廃止は困難であるが、事務の見直しにより一層の合理化を目指す。

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 浜北環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

浜北清掃センターは、新清掃工場稼働後の解体を視野に入れるなか、必要最小限度の維持管理を行う。
 浜北環境センターは、地元との保全協定に基づき、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇関連するSDGsのゴール

①都市	⑩生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	58,439	46,089				
決算	53,230					
人件費(A)	6,320	6,240				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	59,550	52,329				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
浜北清掃センターの解体業務		目標	-	-	-	-	事前調査	土壌汚染調査
		実績	-					
埋立進捗率	%	目標	-	59	60	60	61	61
		実績	-					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜北清掃センターは、新清掃工場稼働後の解体を視野に入れるなか、必要最小限度の維持管理を行う。
 浜北環境センターは、地元との保全協定に基づき、環境保全のための適切な施設の運転管理を行う。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
浜北清掃センターは、新清掃工場の稼働時期まで必要最小限の維持管理を行う方針のもと、事業費削減が図られた。 浜北環境センター(灰木最終処分場)は、現在、浜北区内の道路側溝汚泥と火災残材のみ埋立てをしており、令和元年度の埋立量は、174m ³ となっている。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	旧ごみ処理施設管理事業					11,586	7,446	0.5	0.1		0.1
2	埋立処分場運営事業					40,743	38,643	0.3			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						52,329	46,089	0.8	0.1		0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

旧ごみ処理施設の維持運営を実施し、解体に向けた適切な管理を行う。

◇事業の概要

一般廃棄物等の受入施設としての機能確保及び休止施設の適正な維持管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	7,632	7,446				
	決算	6,957					
	国・県支出						
	市債						
	その他	214	206				
	一般財源	6,743	7,240				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		4,220	4,140				
人工	正規	0.5	0.5				
	再任用(h31)	0.2	0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.b
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4,12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

休止施設の解体等により、災害リスクの減少、また災害時の廃棄物仮置き場等としての有効活用が見込める。一般廃棄物、資源物の受入施設としての維持管理により、廃棄物の削減、再生利用が図られる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜北清掃センターの解体業務							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	-	-	-	-	事前調査	土壌汚染調査
実績値	-	-					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・一般廃棄物等の受入施設としての機能確保及び休止施設の適正な維持管理
- ・施設解体等を見込んだ今後の維持体制の検討

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

一般廃棄物等の受入施設として施設の必要最小限度の維持管理を行っている。
 なお、現休止施設は、令和6年度以降の解体を予定している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・新清掃工場稼働までの必要最小限の維持管理を実施している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

休止施設解体までの必要最小限の維持管理を実施する。
解体を見込み、浜北清掃センターとしての今後のあり方を検討していく。

事業シート (事業名) 埋立処分場運営事業

◇事業目的・事業対象

一般廃棄物埋立処分地を維持管理することにより、適正な生活環境の保全を図る。

◇事業の概要

- 埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理を行う。
対象施設: 浜北環境センター
- 廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	—	一般会計	自治事務(法令義務)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	50,807	38,643				
	決算	46,273					
	国・県支出						
	市債						
	その他		12				
一般財源	一般財源	46,273	38,631				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,100	2,100				
人工	正規	0.3	0.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.5
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

埋立処分場の適正な管理により、環境上の悪影響を軽減できる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
累積埋立量(m ³) 実績値が目標値を下回ること達成					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	800	800					
実績値	639	813					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
埋立進捗率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	-	-	59.1	59.6	60.1	60.6	61.1
実績値	-	-					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・埋立処分場(浸出水処理施設)の適正な運転管理
- ・廃棄物に係る法基準及び地元との環境保全協定の遵守及び環境保全

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜北環境センターの令和元年度埋立量は、174m³であった。
 なお、浸出水処理結果については、すべて基準内であり、環境への影響は認められていない。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成25年度から委託化した処分場の運営については、適切に管理されている。
設備機器類の経年劣化に係る費用、浸出水処理費用とも前年度を下回っている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設運営に関しては、引き続き委託業務として、適切に管理をしていく。
施設の維持管理は、緊急度、重要度等を考慮し、優先順位の中で計画的に修繕等を実施していく。
また、地元町内会との環境保全協定埋立期限(令和4年3月末)以降の処分場の存続、廃止について検討及び
地元調整を進める。

政策シート (政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 天竜環境事業所費

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体を実施する。

◇関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	184,723	141,433				
決算	183,535					
人件費(A)	7,000	9,100				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	190,535	150,533				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
旧ごみ処理施設の解体業務	件	目標	1	1	2	3	3	3
		実績	1					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体のためのスケジュール調整を図った。
(天竜清掃センター・佐久間ゴミ収集センター・はるのクリーンセンター・天竜塵芥処理場)
天竜清掃センターの解体を行った。
佐久間ゴミ収集センター解体のための土壌調査等、解体に向けた準備を進めた。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り
「ごみ処理施設の解体整地」は、解体費用等の予算確保が必要となるため市内の同様施設を優先度の高い順に順位付けて、進めていく。
処分可能となった跡地については、順次普通財産への所管替えを進め今後の利活用を図ることとしており、令和元年度は予定していた1施設(天竜清掃センター)について解体を行うことが出来た。
天竜清掃センターの土地の一部において、土壌汚染の基準を超えている箇所が認められたので、令和2年度において適正に処置を施すこととした。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	旧ごみ処理施設管理事業					150,533	141,433	1.3			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						150,533	141,433	1.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 旧ごみ処理施設管理事業

◇事業目的・事業対象

旧ごみ処理施設の維持運営を実施し、解体に向けた適切な管理を行う。

◇事業の概要

○休止施設の適正な維持管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	一般会計	自治事務(その他)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	184,723	141,433				
	決算	183,535					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,619	1,562				
	一般財源	181,916	139,871				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,000	9,100				
人工	正規	1.0	1.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.6
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

旧施設内にある建物も含めた廃棄物の管理に特別な注意を払い、解体・撤去することで、環境上の悪影響を軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
ごみ処理施設の解体整地(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	33	50					
実績値	33	50					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
天竜清掃センターの解体業務							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			土壌入替工事	—	—	—	—
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
佐久間ゴミ収集センターの解体業務							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			解体工法調査	解体工事	—	—	—
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
はるのクリーンセンターの解体業務							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値			事前調査	土壌汚染調査	解体工事	—	—
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
[空欄]							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

旧焼却・旧埋立施設の維持管理及び解体のためのスケジュール調整を図った。
 (天竜清掃センター・佐久間ゴミ収集センター・はるのクリーンセンター・天竜塵芥処理場)
 天竜清掃センターの解体を行った。
 佐久間ゴミ収集センター解体のための土壌調査等、解体に向けた準備を進めた。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

「ごみ処理施設の解体整地」は、解体費用等の予算確保が必要となるため市内の同様施設を優先度の高い順に順位付けて、進めていく。
 処分可能となった跡地については、順次普通財産への所管替えを進め今後の利活用を図ることとしており、令和元年度は予定していた1施設(天竜清掃センター)について解体を行うことが出来た。
 天竜清掃センターの土地の一部において、土壌汚染の基準を超えている箇所が認められたので、令和2年度において適正に処置を施すこととした。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

旧焼却・旧埋立施設の経費の見直しと節減を図る中で維持管理や環境に配慮した施設の解体処分を滞りなく実施できた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

天竜清掃センターと佐久間ゴミ収集センターの解体後の跡地利用や売却の見通しが現時点ではないものの、施設の老朽化による危険防止等を考慮し、令和2年度は天竜清掃センターの土壌入替工事と佐久間ゴミ収集センター解体工法の調査研究実施する。また、令和3年度以降も残された施設の解体も含め適正管理に努めていく。

政策シート

(政策名) 安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理

(予算費目名) 下水道事業会計負担金

(総合計画体系)

「分野」 環境・エネルギー

30年後の姿 豊かな自然に恵まれ、環境への負荷を抑えたエネルギーに対する不安のない暮らしや企業活動が送られている。

10年後の目標

- ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- 再生可能エネルギー・等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

◆基本政策 環境と共生した持続可能な社会の実現

◇政策の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	44,737	44,977				
決算	44,622					
人件費(A)	700	700				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	45,322	45,677				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○下水道事業会計負担金
職員人件費など44,621,809円を一般会計で負担した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	下水道事業会計負担金					45,677	44,977	0.1			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						45,677	44,977	0.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 下水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	44,737	44,977				
	決算	44,622					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	44,622	44,977				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

上下水道部お客様サービス課が、合併式浄化槽への転換促進や浄化槽法に係る維持管理啓発を実施するため、その職員人件費等を一般会計で負担した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を実施するための職員人件費等を一般会計で負担した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

合併式浄化槽への転換促進補助事業や浄化槽法に係る事業を実施するための職員人件費等を一般会計で負担する。